

入院患者1食30円上げ

自己負担額 来年6月にも

政府検討

政府は医療機関の入院患者が自己負担する食事代を引き上げる方向で検討に入つた。物価高騰のため、国が定める1食当たり原則460円を30円増の490円とする案が軸。早ければ2

024年6月の診療報酬（医療サービスの対価）改定に合わせて行う。患者の自己負担額を引き上げるまでの医療機関に対する時限的な支援措置として、交付金など1日あたり60円程度（1食20円相当）を支給する方針である」とも分かつた。関係者が27日、明らかにした。

仕入れ費用の増加に伴う医療機関の経営悪化を緩和する狙い。11月2日に閣議決定する経済対策に方向性を盛り込む。24年6月以降の自己負担見直しで、低所得の入院患者にも負担増を求めるかどうかは今後調整する。交付金など)で支援している間は、全ての入院患者の自己負担額を現行のま

まとする。

現行制度では、医療機関が食事を提供した際、原則として患者の自己負担額460円に、公的医療保険からの給付180円を加えた

度（1食20円相当）を支給する方針である」とも分かつた。関係者が27日、明らかにした。

住民税非課税世帯など低所得者の自己負担額は、1食当たり210～100円と低く設定している。保険給付がその分増えるため60円は変わらない。